

**製品名: STF1 (1F8) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe18382**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.25mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:2000,IF-P 1:200-1:2000
分子量	52kDa

**抗原情報**

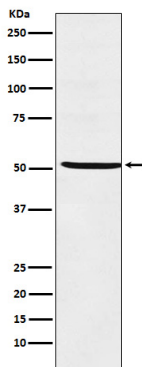
遺伝子名	NR5A1
別名	AD4BP; ELP; FTZ1; FTZF1; hSF 1; NR5A1; POF7; SF1; SPGF8; SRXY3; STF1;
遺伝子 ID	2516.0
SwissProt ID	Q13285
免疫原	ヒトステロイド生成因子 1 の合成ペプチド

**背景**

転写活性化因子。性分化および一次ステロイド生成組織の形成に必須であると考えられる。CYP11A、CYP11B、CYP21Bなどのステロイド生成 P450 遺伝子のプロモーター領域にある Ad4 部位に結合します。転写活性化因子。性分化および一次ステロイド生成組織の形成に必須である (PubMed:27378692)。CYP11A、CYP11B、CYP21B などのステロイド生成 P450 遺伝子のプロモーター領域にある Ad4 部位に結合します。また、AMH/ミューラー管阻害物質遺伝子、AHCH 遺伝子、STAR 遺伝子も制御します。5'-YCAAGGYC-3'および 5'-RRAGGTCA-3'は、NR5A1 による認識のためのコンセンサス配列です (PubMed:27378692)。SFPQ-NONO-NR5A1 複合体は CYP17 プロモーターに結合し、基礎転写活性および cAMP 依存性転写活性を制御します。ホスファチジルコリンに結合します (類似性による)。ホスファチジルイノシトール (PI) 基を持つリン脂質、特に PI(3,4)P2 および PI(3,4,5)P3 に結合します。HIPK3 による NR5A1 のリン酸化によって活性化され、cAMP シグナル伝達経路の刺激によりステロイド産生遺伝子の発現が増加します。

## 研究分野

## 画像データ



Jutkat 細胞溶解物中の STF1 発現のウェスタン ブロット分析。